



2022年11月25日

各 位

会 社 名 a n d f a c t o r y 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 青木 倫治
(コード番号：7035 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 蓮見 朋樹
TEL. 03-6712-7646

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

当社は、2021年12月1日にプライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書（以下、計画書）を開示いたしました。2022年8月31日における計画の進捗状況について、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2022年8月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。2024年8月期末までに上場維持基準を充たすために引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の適合状況及びその推移	2021年6月30日時点 (移行基準日時点)	4,015人	47,447単位	33.4億円	48.2%
	2022年8月31日時点	3,718人	48,300単位	19.9億円	49.0%
上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%
計画書に記載の計画期間		—	—	2024年8月期	—
2022年8月31日時点の適合状況		○	○	×	○

※当社の適合状況は、東京証券取引所が2022年8月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況を基に算出を行ったものであります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価

当社は「流通株式時価総額」がプライム市場の求める基準を充たしていないという結果を踏まえ、同基準を達成するための主要素である業績の改善と株価収益率（以下、PER）の向上を目指し、各種取り組みを実施してまいりました。当社は2022年8月期を初年度とする3カ年にわたる「第一次中期経営計画」を2021年8月27日に公表しており、「第一次中期経営計画」で掲げる2024年8月期における通期売上高約45億円、営業利益7億円という計数目標の達成を前提とし、1株当たり当期純利益を向上させることで適合基

準の達成を目指してまいります。なお、2023年8月期の計画値は、通期売上高31億円、営業利益1億円としており、既存事業の成長と新規事業の確立をもって達成を目指してまいります。

2024年8月期末に向けた計画においての課題及び取り組み内容に関する進捗状況は、次のとおりです。

(1) 第一次中期経営計画の遂行

第一次中期経営計画においては、既存事業の成長及び新規事業の創出を主な目標として掲げております。

当社の収益構造は、マンガアプリ事業による収益が全体の約8割から9割を占めております。今後は、この既存マンガアプリ事業から創出した資本（利益）を、新規事業や既存事業の更なる成長に重点的に投下していくことで、新たな付加価値を生み出すサービスの確立を目指してまいります。また、安定的な利益創出が可能なフェーズに差し掛かりつつあるエンタメ事業においては、キャッシュの確保と成長投資のバランスを図りながら、利益の再投資を行うことで成長を加速させてまいります。RET事業においては、現在&AND HOSTEL事業がメインとなっておりますが、新たなストック型のビジネスモデルの構築を進めてまいります。2022年4月には動画や静止画の撮影者と撮影場所のマッチングプラットフォームであるSUMUTOREをローンチしており、ハウススタジオに特化したレジデンスのプロデュースも行いながら新たな収益源として拡大を目指します。

各事業の成長により、第一次中期経営計画期間中には、既存のマンガアプリ以外からの収益貢献を全体の3割以上にまで引き上げていくことを目指してまいります。更に、マンガアプリ事業、エンタメ事業、RET事業に加え第4の事業領域となり得る全く新しい事業ドメインについても、常に検討を行ってまいります。

各事業の進捗状況は以下のとおりです。

① マンガアプリ事業

マンガアプリ事業においては、2024年8月末時点のMAU：1,300万人、営業利益：7億円～10億円と計数目標を掲げております。

2022年8月期においては、既存のマンガアプリの運営において、安定した成長を目指しMAUの向上と売上の伸長に努めてまいりました。一方、広告市況の悪化により広告ARPU※が低下したことで広告売上は減少したものの、一部アプリにおけるテレビCMの効果による新規ユーザーの流入増加や人気作品の牽引により課金が好調に推移いたしました。上昇傾向にあった獲得単価も直近では改善に転じており、MAUが安定して増加したことで、2022年8月においては過去最高の1,184万人を達成いたしました。

マンガアプリ事業における新規事業創出の一環として、2022年10月15日に株式会社ロイヤリティマーケティング（以下、LM）と協業して新規事業の取り組みを行っていくことについて基本合意契約を締結しております。LMの持つメディア内にオリジナルのマンガ書店を構築することで、新たな形でのコンテンツ提供とマネタイズを行ってまいります。2023年8月期の業績予想においても、新規事業の収益貢献を一定程度織り込んでおり、売上高及び営業利益の拡大に貢献してまいります。

また、2022年10月25日には株式会社セプテーニ・ホールディングス（以下、セプテーニHD）との資本業務提携及び同社を割当先とする第三者割当増資を発表しており、11月10日には同社による払込が完了しております。調達を行った約5億円のうち、約2億円については既存のマンガアプリ事業及びセプテーニHDと今後展開するマンガアプリ分野の周辺領域まで含めた事業連携に充当する予定でございます。当該取り組みを通じた事業基盤の拡大に今後は取り組んでまいります。

※Average Revenue per Userの略称であり、ユーザー1人当たりの収益単価であります。

② エンタメ事業

エンタメ事業においては、2024年8月期の営業利益を2億円から3億円と計数目標を掲げております。2022年8月期においては、注力領域である「占い事業」において積極的に広告宣伝費を投下した結果、ARPUが高水準で推移し売上高及び営業利益ともに増加傾向にあります。特に有名占い師との協業で展開しているサービスが好調に拡大しており、事業全体の収益を押し上げております。また、新規事業として2022年11月8日にオンライン恋愛相談サービスLapikanaをリリースいたしました。今後は、占いに限らず幅広いサービスの提供により新たな顧客層の獲得を目指し、業容の拡大を図ってまいります。

③ RET事業（不動産事業）

RET事業においては、2024年8月期の営業利益を黒字化から1億円程度と計数目標を掲げております。2022年8月期においては、既存の&AND HOSTELの運営に加え、新規事業を推進してまいりました。&AND HOSTELにおいては直近の入国規制の緩和の影響もあり、予約件数が増加傾向にあります。

また、2022年4月には新たなサービスとして、撮影者とスタジオの提供者のマッチングプラットフォームであるSUMUTOREをリリースいたしました。当社は開発及び運営を行い、サイトには一般の居住者が提供するハウススタジオの情報を掲載します。一般的な住宅をスタジオとして利用するニーズに特化し、プロの撮影者や商業利用目的での撮影に向けたサービスを提供することで、新たな収益の確保を押し進めてまいります。

(2) 今後のIR方針並びに目指す株主構成

株価の向上に向けては、「第一次中期経営計画」における計数目標の達成を前提としつつ、今後の当社事業の成長性を資本市場に訴求することを通じたPERの向上が肝要となります。そのためにも当社では今まで以上にIR活動に重点を置き、資本市場とのコミュニケーションの拡充に努めてまいります。

今後は、決算プレゼンテーション資料等において、マンガアプリ事業における顧客獲得効率指標やエンタメ事業におけるARPU等の経営管理計数の開示範囲拡大を検討し、決算短信の英訳の早期化や決算説明資料の英訳等、英文開示の拡充を図ることで投資判断に資する情報開示の充実を推進していく所存です。また、既存の機関投資家との面談等を継続して実施するとともに、新規機関投資家層へのアプローチを積極的に行うことで投資家層の拡大を目指します。積極的なIR活動を通じて、個人投資家向けの情報発信を充実させてまいります。中長期的には機関投資家比率を現在の水準より高めることも一つの目標としております。

3. 上場維持基準に適合していない項目についての課題と取り組み内容

流通株式時価総額の基準を充たしていない理由は、主要な要素である株価が低迷しているためであると考えており、企業価値の向上と株式市場で適正な評価を得ることが課題であると認識しております。今後も引き続き計画に基づく各種取り組みを推進し、当該市場上場維持基準への適合を目指してまいります。

以 上